

目標達成計画

作成日: 平成 23年 5月 26日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	現在の、一つ一つの記録や計画、及びケアすべき生活機能別の自立度等の記録が生かされていない。	各種の記録物の重複や複雑さを避け、それぞれが連動し利用者の変化を発見しやすくして、実態に即したプランを作成し、充実した日々を送ることが出来るように援助する。	・それぞれの職員が担当の利用者の記録の中から変化を見つけ出し、月一度の会議で情報を共有し、利用者の満足度に近づけていく。	12ヶ月
2	43	尿意のある人が多い。	尿意のある人が多いので、失禁予防体操を取り入れて、トイレ使用の習慣化を図る。	・毎日のリハビリ体操の中に失禁予防体操を取り入れる。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。